

1学期 中間テスト(英語)

Class____ No.____ Name_____ 得点 /100

出題範囲:be動詞・一般動詞・疑問詞・否定文(中1・1学期前半)	時間:45分	難易度:標準
----------------------------------	--------	--------

このテストのストーリー 4月、オーストラリアから転校生の Mia(ミア)が来ました。転校から2週間、まだ慣れないMiaを手助けする——それがこのテストの全問題です。(物語は期末テストに続きます)

※設計サンプル(ひな形)です。Word版で自校の範囲・固有名詞に差し替えて使えます。場面を思いうかべながら解こう。見直しの時間も忘れずに。

大問1 リスニング Miaのあいさつスピーチと、朝の教室の対話を聞いて答えよう。 知技・思判表 /20点

場面 4月の2週目。転校生のMiaが、あらためて学年集会であいさつスピーチをします(Part A)。そのあとの朝の教室で、RikuとMiaが今日の時間割を確認しています(Part B)。学級新聞係のあなたは、メモを取りながら聞いています。放送はそれぞれ2回流れます。

Part A Miaのあいさつスピーチを聞いて、「Miaメモ」の空らんを日本語で埋めよう。(各2点)

出身	(①)	年れい	(②)さい
すること(スポーツ)	(③)	苦手な食べ物	(④)

⑤ スピーチの最後の「Miaからの質問」に、英語1文で答えよう。(3点)

Part B 朝の教室で、MiaとRikuが今日の時間割を確認しています。2人の対話を聞いて答えよう。((1)～(3)各2点)

(1) 今日の1時間目の教科は何ですか。日本語で。	()
(2) Miaの好きな教科はどれですか。 ア 数学 イ 音楽 ウ 英語	()
(3) 2人が昼食を食べる場所はどこですか。 ア 食堂 イ 校庭 ウ 教室	()
(4) この対話のあと、Miaが音楽の授業までにしそうなことはどれですか。(3点) ア Rikuと音楽室の場所を確認しに行く イ 教室で昼食を食べる ウ 校庭でテニスをする	()

大問2 文法・語い チャットとメモが成り立つように、()の英語を完成させよう。 知識・技能

/20点

場面 Miaがクラスのグループチャットに参加しました。最初に話しかけたのはHanaです。

Mia: Hi! I'm Mia.(①)you Hana?

Hana: Yes, I(②). Welcome to our class chat!

Mia: Thank you!(③)you like Japanese food?

Hana: Yes! I like sushi. But I(④)like natto. Sorry!

Mia: Ha-ha, me too!(⑤)is your favorite subject?

Hana: I like English. It (⑥ be動詞) fun.

Mia: Nice!(⑦)do you practice tennis? After school?

Hana: Yes, after school. Let's play together!

Mia: Yes, let's!(⑧)is the tennis court?

Hana: Next to the gym. See you there!

※⑥⑨⑩はヒント(品詞・語)を参考に、文に合う形で書こう。すべて1語。(各2点)

つづけて、Miaがノートに書いた学校生活のメモです。(各2点)

We (⑨ have) six classes on Friday. / My teachers (⑩ be動詞) very kind.

①		②		③	
④		⑤		⑥	
⑦		⑧		⑨	
⑩					

大問3 場面のやり取り 転入直後のMiaとの学校生活。それぞれの場面に合う英語はどれ？ 思・判・表

/10点

場面 転入から2週間。まだ慣れないMiaを、あなたはいろいろな場面で手助けしています。

場面に合う英語を選ぼう。(各2点)

(1) 転入初日。Miaが "Nice to meet you." とあいさつしました。あなたの返事は？ ア I'm from Japan. イ Nice to meet you, too. ウ Goodbye.	()
(2) 授業中、Miaが "Oh no, my eraser..." と困っています。自分の消しゴムを差し出すなら？ ア Here you are. イ Excuse me. ウ I'm sorry.	()
(3) 給食の時間。Miaがランドセルの写真を指さして "What's this?" と聞きました。答えるなら？ ア Yes, it is. イ I like it. ウ It's a "randoseru."	()
(4) 次は音楽の授業。教室が分からず困っているMiaに、いっしょに行こうとさそうなら？ ア Let's go to the music room together. イ I don't like music. ウ The music room is old.	()
(5) 金曜日の帰り道。Miaに「よい週末を」と伝えるなら？ ア Good morning. イ Have a nice weekend! ウ Nice to meet you.	()

大問4 資料の読み取り 遠足のお知らせと昼食注文の案内を読んで、Miaの準備を手伝おう。 知技・思判表

／20点

場面 来週は春の遠足。ろうかに、英語版のお知らせが2枚はつてあります。Miaには困りごとがあるようです。

FIELD TRIP — City Zoo	LUNCH ORDER — for the trip
Date: May 30 (Friday) Meet: 8:15 at the school gate Bring: lunch, drink, cap Cameras are OK. Phones are not OK. Rainy day: City Science Museum	No lunch from home? Order here! A: Sandwich set … 400 yen B: Rice ball set … 350 yen Order & money: by May 23 (Friday) Ask Mr. Sato (Room 1-3)

Miaのひとこと "I want to take many photos of the animals! But I don't have a lunch box at home now..."

(1) 2枚のお知らせから読み取ろう。(各2点) ① 遠足の集合は何時？	(:)	② 雨の日の行き先は？	()
③ 昼食の注文でいちばん安いセットは？ ア サンドイッチセット イ おにぎりセット ウ 同じねだん	()	④ 注文とお金の締め切りは5月何日？	5月() 日

(2) 「おべんとう箱がない」というMiaの困りごとに合うお知らせはどちらですか。(記号2点) A FIELD TRIP B LUNCH ORDER	()
---	-----

そう考えた理由を、Miaのひとことと、お知らせの内容の両方にふれて日本語で書こう。(3点)

(3) 「動物の写真をたくさんとりたい」というMiaの希望について、お知らせのどの情報を伝えるとよいですか。日本語で書こう。(3点)

(4) Miaに、昼食の注文をすすめるひとことを英語1文で書こう。(4点)

大問5 読解 1学期前半に学習した教科書の文章を、もう一度読んで答えよう。

知技・思判表

／20点

場面 帰り道、Miaに「教科書でどんな話を読んだの?」と聞かれました。内容を思い出しながらかみ直します。

▼ 本文貼り付け枠(Word版で、1学期前半に学習した教科書の本文・対話文をここに貼り付け)

問1 この文章に合うタイトルを選ぼう(選択肢は本文に合わせて先生が作成)(3点)	()
問2 本文の内容と合っていれば○、ちがっていれば×を書こう。①～④(各2点)	①()②() ③()④()
問3 下線部の語の意味を、前後の文から推測して選ぼう(3点)	()
問4 下線部について、理由や気持ちを、本文の言葉を手がかりに日本語で説明しよう。(3点)	
問5 本文のテーマについて、あなた自身のことを英語1文で書こう。(3点)	

大問6 ライティング 掲示板の英語コーナーに、Miaに向けて自分の紹介カードを書こう。

知技・思判表

／10点

場面 転校から2週間。Miaはまだクラスのみんなの名前と顔が一致していません。そこで担任の先生が、教室の掲示板に英語の自己紹介コーナー Meet Your Classmates! を作ることにしました。あなたは自分の紹介カードを書きます。

条件 ①自分の名前(呼んでほしい呼び名) ②好きなもの・こと を1つ以上 ③よくすること を1つ以上 ④カードの最後に、Miaへの質問を1文

20語以上の英語で。Miaが「話してみたい!」と思えるように書こう。

評価の目安(10点)	内容(条件を満たし、Miaに伝わるか)…6点 + 英語(語数と正確さ)…4点

書き終わったら見直しチェック ☐ 大文字・小文字(文頭・I・名前) ☐ 文末のピリオド／? ☐ be動詞と一般動詞を1文に混ざっていないか(I am play ×) ☐ 読む相手(Mia)に伝わる内容か

1 テスト設計表(何を・どの場面で・どの観点で測るか)

作問はこの表から始めます。大問を作ってから観点を後づけするのではなく、測りたい力に場面を与えるのが順序です。観点の配点バランスは 知識・技能 57点／思考・判断・表現 43点(中間は学期はじめの基礎期。知技をやや厚くし、期末→学年進行で思判表の比重を上げる)。

大問	場面・課題	測る力	観点	配点
大問1	転校生のあいさつスピーチと、朝の教室の時間割対話を聞き、メモの整理と行動の予測をする	必要な情報の聞き取り(知技)／状況からの判断・聞いて自分のことを書く(思判表)	知技・思判表	20(2点×7・3点×2)
大問2	転校生とのグループチャット・メモが成り立つように語を判断する	文脈の中で be動詞・一般動詞・疑問詞・否定を正しく使う(三単現・canは範囲外＝期末で扱う)	知技	20(2点×10)
大問3	転入直後の学校生活の場面(初対面・授業中・給食・移動・下校)で適切な応答を選ぶ	目的や場面、状況に応じて定型表現を選択する	思判表	10(2点×5)
大問4	遠足のお知らせと昼食注文の案内2枚を読み、転校生の困りごと・希望に合う情報を選んで伝える	資料の読み取り(知技)／情報を結びつけて判断し、英語で伝える(思判表)	知技・思判表	20(2点×5・3点×2・4点×1)
大問5	教科書本文(貼り付け枠)を「要旨→事実→語句推測→推論→自分」の5層で読む	概要・要点の把握、語句推測(知技)／本文をふまえて表現する(思判表)	知技・思判表	20(2点×4・3点×4)
大問6	掲示板の英語コーナーに、転校生に向けて自分の紹介カードを書く	条件に沿って、読み手を意識して書く(評価規準・評価基準は次ページ)	知技・思判表	10(知技4・思判表6)

2 リスニング台本(2回読み・自然な速さで)

(2sec)(3sec)はポーズの秒数です。ALTに依頼する場合はこの台本をそのまま渡せます。

Part A(Miaのあいさつスピーチ)
Hello, everyone. I'm Mia Brown. Please call me Mia. (2sec)
I'm from Sydney, Australia. (2sec)
I'm thirteen years old. (2sec)
I like music and sports. I play tennis. (3sec)
I don't like tomatoes. Sorry! (2sec)
Now, I have a question for you. What color do you like? (3sec)
Please talk to me. Thank you!

Part B(朝の教室で、MiaとRikuが時間割を確認する対話)
Mia: Good morning, Riku. What do we have today? (2sec)
Riku: Good morning! We have math first. (2sec)
Mia: Math... OK. Do we have music today? (2sec)
Riku: Yes! We have music after lunch. I like music. (2sec)
Mia: Me too! Music is my favorite subject. (2sec)
Riku: Nice! Oh, Mia, where do you eat lunch in Australia? (2sec)
Mia: In the cafeteria or outside. How about here? (2sec)
Riku: We eat lunch in our classroom. (2sec)
Mia: I see! By the way, where is the music room? (2sec)
Riku: On the third floor. Let's check it before the class. (2sec)
Mia: Yes, let's!

3 解答例・許容範囲

大問1	A:①シドニー(オーストラリア) ②13 ③テニス ④トマト ⑤例:I like blue.(発展版は2文目に What color do you like, Mia? 以外の質問でも、Miaに向けた質問なら満点) B:(1) 数学 (2) イ (3) ウ (4) ア
大問2	① Are ② am ③ Do ④ don't ⑤ What ⑥ is ⑦ When ⑧ Where ⑨ have ⑩ are ※⑦の根拠は直後の After school?、⑧は応答の Next to the gym。許容解は採点前に決めてそろえる。
大問3	基礎・標準版:(1) イ (2) ア (3) ウ (4) ア (5) イ / 発展版(初対面の場面を除く4問):(1) ア (2) ウ (3) ア (4) イ
大問4	(1) ①8:15 ②市科学館(City Science Museum) ③イ(350円<400円) ④23日 (2) B / 理由:Miaのひとこと(おべんとう箱がない)と案内(家から持ってこれない人は注文できる)の両方への言及で満点、片方のみは部分点(2点) (3) カメラは持っていったよい(スマホは不可)と伝える (4) 例:Let's order the rice ball set by May 23!(案内の情報を使った1文なら可。伝わる英文=2点+情報の適切さ=2点)
大問5	貼り付けた本文に合わせて作成。問1の誤答は「話題は同じだが要旨とずれるタイトル」を2つ。問2の×文は本文と1か所だけ変える。問3は未習語・派生語を下線に。問4は手がかり語を決めてから採点する。

4 ライティングの評価規準・評価基準(作問時に確定＝採点のブレを防ぐ)

評価規準(のりじゅん)＝「おおむね満足できる」状況(B)を文章で決めたもの。評価基準(もとじゅん)＝a/b/cの段階と点数の物差し。国立教育政策研究所の参考資料の様式に合わせ、作問時にこの2つを確定してから出題します(採点のブレを防ぐ＝信頼性)。

評価規準(B)	Miaに自分を知ってもらおうという目的に応じて、条件(名前・好きなこと・よくすることなど)を含む自己紹介文を、意味の伝わる英文で書いている。	
	思考・判断・表現(内容の適切さ)…6点	知識・技能(語数・正確さ)…4点
a	条件をすべて満たし、読み手(Mia)が話しかけたいくなる工夫がある …6点	指定の語数を満たし、誤りがほとんどない …4点
b	条件をすべて満たしている …4点	誤りが一部あるが、理解に支障はない …3点
c	条件の一部を満たしていない …2点	語数不足、または支障のある誤りがある(伝えようとはしている) …1～2点

・「主体的に学習に取り組む態度」はテストでは点数化せず思判表と一体的に見る(国研の立場)。・cの生徒へ:条件チェック表で自己点検→書き直し再評価。最初のテストで「英語はこわくない」体験を。・be動詞と一般動詞の混在(I am play ×)はこの時期の最頻出エラー。記録しておくと期末までの指導計画に使える。

5 自校仕様へのカスタマイズ(Word版)

固有名詞	Mia を自校のALT／転校生の設定に、Riku・Hana をなじむ名前に、遠足を自校の直近行事に差し替える(問いの型は変えない)。
範囲の調整	疑問詞が未習なら大問2⑦⑧を(Do)you ～? / It(is)～。型に、Let'sが未習なら大問3(4)・大問6⑤を除く。三単現・canは本版に出ない(期末版で初登場する設計)。
大問5の本文	1学期前半に学習した範囲の本文・対話文を貼り付け、問1のタイトル選択肢(正解1+要旨とずれる誤答2)、問2の○×文、問3の下線語を作る。まだ本文が短い時期は、対話文2つを並べて貼ってもよい。
リスニング	Premium音声(英検方式の全英語進行・各2回読み・解答ポーズ入り)をそのまま再生して実施できる。自前で実施する場合は台本2本をALTに渡して録音、またはその場で読む(各2回・自然な速さ)。時間の目安はリスニング10分・大問2～5で25分・ライティング7分・見直し3分。
配点の調整	知技小問2点・思判表3点・応用4点・ライティング10点の刻みを保つと1問の重みが大きくなりすぎず、観点別の集計も簡単。変えるときは設計表の観点バランスを保つ。

